

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〔仮称〕パレ・ロワイヤル加古川栗津	階数	地上11F
建設地	加古川市加古川町栗津字丸越301	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2023年6月17日
敷地面積	1,473 m ²	作成者	㈱K. 設計 井上晶規
建築面積	595 m ²	確認日	2023年6月17日
延床面積	4,658 m ²	確認者	㈱K. 設計 橋田典博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.2 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.2
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 周辺のまちなみとけこみ、日々豊かな生活が送れるマンションとなるよう、設計を行いました。		その他 0
Q1 室内環境 居室には自然換気が行えるように、十分な開口部を設けています。内装材はF☆☆☆☆を全面的に採用し、VOC対策を行っています。	Q2 サービス性能 階高は2.96m、居室の天井高は2.6mあり、開放感ある住戸となっています。	Q3 室外環境 (敷地内) 外観、建物高さ、壁面位置等を、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させています。
LR1 エネルギー 屋根に外断熱工法、外壁廻りに発泡ウレタン断熱材を使用し、熱負荷の抑制を計っています。	LR2 資源・マテリアル 構造材と仕上材の分離を計り、部材の再利用の可能性を向上させています。	LR3 敷地外環境 十分な駐車場、自転車置場を確保することにより、地域インフラの負荷を抑制し、外部緑化等により、ヒートアイランド化の抑制対策を行っています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される